

施策評価シート (評価対象年度：平成30年度)

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	1 公園・緑地の整備	② 施策番号	5206
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	1 豊かな自然環境を維持・向上し、うるおいあふれるまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	3 公園・緑地の整備		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
都市整備部	都市政策課		

2. 施策の現状把握

[1] 施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	市民
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	民間事業者の創意工夫による魅力的な都市公園の提供。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	国、府において都市公園の活性化に民間資金を投入する仕組みを構築。

[2] 施策指標及び推移

施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
① 都市計画公園等の事業中面積 計算式	ha	市民にうるおいと安らぎを新たに提供できる面積であるため。
② 計算式		
③ 計算式		

指標名	単位		H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	備考
① 都市計画公園等の事業中面積	ha	目標値	—	—	—	26	0	R元年度完了予定
		実績値	—	26	26	—	—	
		達成率						
②		目標値						
		実績値						
		達成率						
③		目標値						
		実績値						
		達成率						

[3] 施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標				総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化	
		指標名	単位	H29実績	H30実績	R1見込	H29実績	H30実績	R1見込	総合評価		今後の方向性
1	公園緑地等維持管理事業	整備等事業者数	グループ	0	1	1	19,006	29,581	17,275	A	ア	◎
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	1						19,006	29,581	17,275			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	約26haの新たな都市公園を整備する。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	約26haの新たな都市計画公園等の整備事業に着手した。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	民間事業者による整備、運営、維持管理を独立採算事業としており、市は民間事業者のモニタリングを行い、市民は、有料施設を利用する際は、受益者負担により、利用料を支払う。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	本来、事務事業を独立させるべきもの。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	市の活性化には必須の事業。

4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
	B	令和2年春の開園に向けて、PFI事業者と協議しながら、地域との連携を図り、市のにぎわい拠点として整備を推進する。	

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	令和元年度から工事に着手し、早期の開園を目指す。 宿泊事業運営事業者との連携を図る。 グラウンド・ゴルフ場運営等事業者を選定し、PFI事業者等と連携を図る。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	令和2年春の開園を目指す。(一部開園を含む) グラウンド・ゴルフ場は、令和2年夏前の利用開始を目指す。
中長期的対応 (3~5年をめどに取り組む改善案)	整備後の運営、維持管理の状況をモニタリングしていく。 宿泊施設の完了による新たな連携を図る。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

二次評価	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
	B	公園・緑地の整備に向けた取組が適正に行われている。 開園に向けた事業者との連携や地域との調整、開園後のモニタリングへの仕組みづくりについて適切な取組を進められたい。	